

# 令和6年度社会福祉法人橘風会事業報告

## I. 総括

### 1. 令和6年度 収支状況

法人全体では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、以下の要因により、収支差額は前年度と比較して約1,300万円の大幅な増加となりました。各事業部の状況は以下の通りです。

- 特別養護老人ホーム ねむの丘

- 施設内クラスターの発生、人件費・水道光熱費・業務委託費の高騰により支出は増加いたしました。しかしながら、新規加算の取得や基本単価の上昇がこれらの経費増を上回り、金額にして約320万円の増加となりました。

- 在宅部門

- ショートステイ：ねむの丘と同様に施設内クラスターの発生と特養への入所等があったものの、利用者数の増加と基本単価の上昇により、収支差額は約140万円の増加となりました。
- デイサービス：新規加算の取得はありませんでしたが、基本単価の上昇、居宅介護支援事業所への営業強化、近隣大型施設の閉鎖といった要因が重なり、稼働状況が大きく好転いたしました。その結果、収支差額は前年度と比較して約550万円もの増加となりました。
- ケアプランセンター：新規確保件数は前年度とほぼ変わらず収入は横ばいでしたが、令和6年3月末に非常勤職員が退職したことにより人件費が減少し、収支差額は前年度に比べ約310万円の増加となりました。

### 2. 施設整備

東ユニット3階居室の空調設備の老朽化に伴い、空調設備更新工事を実施いたしました。これにより、修繕費の抑制と電気代の削減に繋がるものと期待されます。

## II. 改正事項

### 1. 定款・規約・規程等の整備

#### 1) 定款

- ① 変更点なし

#### 2) 規約

- ① 社会福祉法人橘風会 就業規則の一部改正

#### 3) 規程

- ① 社会福祉法人橘風会 ユニット型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正
- ② 社会福祉法人橘風会 従来型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正
- ③ 社会福祉法人橘風会 指定短期入所介護事業運営規程の一部改正
- ④ 社会福祉法人橘風会 指定介護予防短期入所生活介護運営規程の一部改正

- ⑤ 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程の一部改正
- ⑥ 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正
- ⑦ 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程（第二デイサービス虹の家）の一部改正
- ⑧ 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正
- ⑨ 社会福祉法人橘風会 居宅介護支援事業所運営規程の一部改正
- ⑩ 社会福祉法人橘風会 指定訪問介護事業運営規程の廃止
- ⑪ 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号訪問事業（訪問型サービス）運営規程の廃止
- ⑫ 社会福祉法人橘風会 給与規程の一部改正

### Ⅲ. 組 織

#### 1. 役 員（令和7年3月末日現在）

理事長	都丸 宣彦			
理事	丸橋 正幸	木村 榮一	村尾 隆史	
	高山 啓一（施設長）	今井 兼則		（就任順）
監事	都丸 正隆	藤川 正彦		（就任順）
評議員	高橋 睦男	小川 志道	林 俊男	宇都宮 京子
	諸田 了子	森田 俊之	木暮 美恵子	（就任順）

#### 2. 職 員（令和7年3月末日現在）

(1) 橘風会 総数	137名	常勤77名（男33名、女44名）	非常勤60名（男10名、女50名）
(2) 施設長	1名	常勤1名（男1名）	
(3) 総務部	15名	常勤4名（男2名、女2名）	非常勤11名（男7名、女4名）
部長	1名	常勤1名（男1名）	
総務係	3名	常勤3名（男1名、女2名）	
用務	2名	非常勤2名（男2名）	
管理当直	3名	非常勤3名（男3名）	
洗濯・清掃	6名	非常勤6名（男2名、女4名）	うち、障害者雇用 3名
(4) 施設支援部	68名	常勤53名（男22名、女31名）	非常勤15名（男0名、女15名）
課長	1名	常勤1名（男1名）	
生活支援係	3名	常勤3名（うち、管理栄養士2名）	
第一介護係	28名	常勤21名（男11名、女10名）	非常勤7名（男0名、女7名）
第二介護係	36名	常勤28名（男9名、女19名）	非常勤8名（男0名、女8名）

(5) 医務課	14名	常勤	6名 (看護師2名、准看護師4名)
		非常勤	8名 (看護師1名、准看護師7名)
医務係	11名	常勤	4名 (看護師1名、准看護師3名)
		非常勤	7名 (看護師1名、准看護師6名)
機能訓練指導員	3名	常勤	2名 (看護師1名、准看護師1名)
		非常勤	1名 (准看護師1名)
(6) 在宅支援部	39名	常勤	13名 (男7名、女6名)
		非常勤	26名 (男3名、女23名)
課長	1名	常勤	1名 (地域包括管理者1名)
通所介護事業所	28名	常勤	5名 (男3名、女2名)
		非常勤	23名 (男1名、女22名)
運転手	2名	非常勤	2名 (男2名)
居宅介護支援事業所	5名	常勤	5名 (男2名、女3名)
地域包括支援センター	3名	常勤	2名 (男1名、女1名)
		非常勤	1名 (男0名、女1名)

#### IV. 会議

##### 1. 理事会

開催年月日	開催名	議題内容
令和6年 5月16日	第1回理事会	議案第 1号 社会福祉法人橘風会 理事長の選任について
令和6年 5月25日	第2回理事会	議案第 2号 令和5年度社会福祉法人橘風会事業報告並びに資金収支決算(資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録)の認定について [監査報告]
		議案第 3号 社会福祉法人橘風会 ユニット型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について
		議案第 4号 社会福祉法人橘風会 従来型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について
		議案第 5号 社会福祉法人橘風会 指定短期入所生活介護事業運営規程の一部改正について
		議案第 6号 社会福祉法人橘風会 指定介護予防短期入所生活介護事業運営規程の一部改正について
		議案第 7号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程の一部改正について
		議案第 8号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業(通所型サービス)運営規程の一部改正について
		議案第 9号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程(第二デイサービスセンター虹の家)の一部改正について
		議案第10号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業(通所型サービス)運営規程(第二デイサービスセンター虹の家)の一部改正について
		議案第11号 社会福祉法人橘風会 指定訪問介護事業運営規程の廃止について
		議案第12号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号訪問事業(訪問型サービス)運営規程の廃止について
		議案第13号 社会福祉法人橘風会 監事の辞任について
		議案第14号 社会福祉法人橘風会 評議員選任・解任委員の辞任

		<p>について</p> <p>議案第15号 社会福祉法人橘風会 理事の欠員に伴う、新理事の推薦について</p> <p>議案第16号 社会福祉法人橘風会 監事の辞任に伴う、新監事の推薦について</p> <p>議案第17号 社会福祉法人橘風会 評議員選任・解任委員の選任について</p> <p>議案第18号 社会福祉法人橘風会 給与規程の一部改正について</p> <p>議案第19号 社会福祉法人橘風会 経理規程の一部改正について</p> <p>議案第20号 社会福祉法人橘風会 訪問介護事業所、経理規程除外に伴う通帳解約及び解約に伴う資金移動について</p> <p>議案第21号 独立行政法人福祉医療機構に関する代表者変更及び連帯保証人の変更について</p> <p>議案第22号 社会福祉法人橘風会 評議員会の開催について</p>
令和6年 9月12日	第3回理事会	<p>議案第23号 令和6年度社会福祉法人橘風会第一次資金収支補正予算について</p> <p>議案第24号 社会福祉法人橘風会 評議員会の開催について</p>
令和7年 1月20日	第4回理事会	<p>報告事項</p> <p>(1) コロナウイルス施設内感染に関する報告について</p>
令和7年 3月11日	第5回理事会	<p>議案第25号 社会福祉法人橘風会 給与規程の一部改正について</p> <p>議案第26号 社会福祉法人橘風会 就業規則の一部改正について</p> <p>議案第27号 社会福祉法人橘風会 育児・介護休業等に関する規則の改正について</p> <p>議案第28号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程の一部改正について</p> <p>議案第29号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正について</p> <p>議案第30号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正について</p> <p>議案第31号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正について</p> <p>議案第32号 令和6年度社会福祉法人橘風会第二次資金収支補正予算について</p> <p>議案第33号 令和7年度社会福祉法人橘風会事業計画並びに資金収支予算について</p> <p>議案第34号 社会福祉法人橘風会 評議員会の開催について</p> <p>報告事項</p> <p>業務執行状況の報告について</p> <p>その他</p> <p>資金運用について</p>

## 2. 監査会

開催年月日	事業内容
令和6年 5月10日	令和6年度 監査会（令和5年度決算監事監査）
令和6年11月29日	令和6年度 上半期会計監査会

### 3. 評議員会

開催年月日	開催名	議題内容
令和6年 6月11日	第1回評議員会	議案第 1号 令和5年度社会福祉法人橘風会事業報告並びに資金収支決算（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録）の認定について [監査報告] 議案第 2号 社会福祉法人橘風会 理事の欠員に伴う、新理事の選任について 議案第 3号 社会福祉法人橘風会 監事の辞任に伴う、新監事の選任について 議案第 4号 社会福祉法人橘風会 経理規程の一部改正について
令和6年 9月26日	第2回評議員会	議案第 5号 令和6年度社会福祉法人橘風会第一次資金収支補正予算について
令和7年 3月25日	第3回評議員会	議案第 6号 令和6年度社会福祉法人橘風会第二次資金収支補正予算について 議案第 7号 令和7年度社会福祉法人橘風会事業計画並びに資金収支予算について

### 4. 評議員選任・解任委員会

開催年月日	開催名	議題内容
実施なし		

### 5. その他

開催年月日	事業内容
令和6年5月10日	苦情解決報告会
令和6年5月（書面）	第1回家族会総会（書面決議） 職員で苗の植え付け
令和6年6月6日	第1回入所検討委員会
令和6年9月16日	第2回家族会 コロナウイルス感染拡大防止の観点から家族は招かず施設内 であんみつ作り
令和6年9月24日	第2回入所検討委員会
令和7年1月19日	家族会 役員会
令和7年1月28日	第3回入所検討委員会

## V. 事業（目標）結果

### 1. 総務部

#### <目標>

- 働き方改革による業務能率及び生産性の向上、仕事と生活との両立支援、女性職員の活躍推進などの取組を進めることで、多様な人材が活躍できる職場づくりを実施していきます。
- 安心してはたらくことのできる職場環境づくりの観点から、ハラスメント防止対策及びメンタルヘルス対策を引き続き実施していきます。
- 事業継続計画BCPに基づき平常時から備えを着実に行うことで、災害時の即応要員の確保や施設・設備復旧、代替調達先の確保等を円滑に行うことができるよう努めます。

#### <結果>

- 介護ロボットの導入や有給休暇の取得促進、育児介護休業等に関する規則の改正による男性の育児休暇の取得を進め、労務軽減や仕事と生活との両立支援を実施しました。
- 産業医と連携し、職場内でのストレスチェックの確認や業務上の問題点等を精査し、事故防止に努めました。
- 事業継続計画に基づき、土砂災害警戒区域の確認や災害発生時の施設内設備に関する確認・復旧作業を共有し、災害発生時の被害を最小限にとどめるよう活動を実施しました。

#### 法人共通研修

令和6年5月15日	諸規程・社会人としてのマナー・各処遇改善について
令和6年6月15日	高齢者虐待（事例）・身体拘束について（スピーチロック）
令和6年7月17日	感染発生時に対する対応（新型コロナウイルス）
令和6年10月9日	感染予防について（ノロウイルス）
令和7年2月19日	褥瘡予防について
令和7年3月15日	高齢者虐待（不適切ケアと指針）・身体拘束について（指針）

## 2. 施設支援部

### ねむの丘基本方針

- 親孝行の視点で利用者の想いに寄り添うケアを提供します。
- 『ねむの丘ケア方針』に基づいた愛情あるケアを提供します。
- 地域に貢献し誰からも必要とされる施設を目指します。

### 各部署の目標

#### ① 生活相談員

##### <目標>

入所時から継続してご利用者、ご家族の想いと願いを汲み取り、多職種で共有し協働することで人生を彩る利用者本位の支援を提供します。

- 日々、ご利用者やご家族の意向について情報を収集し、洋式にまとめ多職種で共有し、ご利用者の意志を尊重した支援が実現できるように連携する。
- 季節感のあるイベントや地域に根差した行事に関連したイベントを企画し、実施することで、ご利用者にとって日々の生活の楽しみと喜びに繋げていく。日常の様子やイベントでの様子をご家族の来所時やブログ等を通して発信して、ご利用者の日々の様子を知っていただく。

##### <結果>

- 入所時から情報収集を行い、様式にまとめて多職種で情報の共有をすることができた。
- 地域性や季節感のある施設行事を企画実施することで、ご利用者に楽しんでいただくことができた。また、面会時やブログ、近況報告などを通して、ご利用者の日々の様子をご家族に知っていただくことができた。

#### ② 介護支援専門員

##### <目標>

介護過程を理解することでケアプランの重要性を再認識しプランに沿った統一ケアを提供します。

- ケアプランの作成方法をケアマネが中心となって職員に伝えケアプランの理解を深めることができる。
- ケアプランに沿ったケアができてプランに沿った記録ができる。

##### <結果>

- ケアプランの作成方法についてケアマネ間で確認しあいながら各担当フロアのプランについて定期的に確認したことで共通認識が図れた。
- 日々の記録に関してケアプランに沿った記録ができた。

#### ③ 管理栄養士

##### <目標>

摂食状況や食事に関する要望を日々の献立に反映するとともに、行事食を取り入れることで食の楽しみや喜びを感じていただけるよう支援します。

- 栄養ケアマネジメントやミールラウンドから得た情報から、低栄養予防・改善や摂食嚥下機能に合わせた食支援を検討し、実施できる。
- 生活の楽しみとなるような献立作成と食事提供、また季節や地域性のある行事が実施できる。
- 日々の食事をより良いものにするために課題を共有し、改善に向けた検討ができる。

##### <結果>

- 栄養ケアマネジメントや日々の摂食状況の把握に努め、多職種で低栄養予防・改善や摂食嚥下機能に合わせた食支援を検討し、実施できた。
- 季節感やバリエーションに富んだメニューを献立に取り入れることを意識し、食にかかわる施設行事を実施できた。
- 給食業者と課題を共有し、改善に向けて連携を図ることができた。

#### ④ 介護

##### 第一介護係橋組

##### <目標>

ご利用者が笑顔となる情報を収集し記録にまとめ、活用し関わることで笑顔に繋がるケアを提供します。

- 職員を小グループに分け、それぞれのグループで担当利用者についての情報共有シートを作成する。
- ホールでの雰囲気作り季節感を感じてもらうための環境作りを行う。
- 口腔ケアの必要性・重要性を知り口腔内の衛生管理を行う。

<結果>

- 情報収集を行いご利用者をより知る事で関わり方に変化が現れ、ご利用者の笑顔を引き出すことができた。
- ご利用者主体で壁飾りなどの制作を実施し完成後は自身の作品を見て喜んで頂けた。
- 各職員が適切な口腔ケアの理解を深めご利用者に合わせた口腔ケアができるようになった。

### 第一介護係風組

<目標>

ご利用者を大切な存在としてとらえ関わり、知り得た願いや望みを叶える事で幸福感のある暮らしをチームで提供します。

- 情報シートの作成と活用することで個々のニーズに合わせたケアにつなげ、居心地の良い環境で生活することができる。
- 多様なレクリエーション活動を実施し参加者同士の交流を促し、日々の生活に彩りと活力を与えことができる。

<結果>

- 個々のご利用者が喜ぶ活動を提供し個性を尊重した関わりができた。
- 行事やレクリエーション活動を通じて、参加者同士の交流が深まり楽しみを持って過ごすことができた。

### 第二介護係花組

<目標>

笑顔溢れる生活を提供する為に、自己選択・自己決定のある日々と願いを叶えることで幸せを感じられる支援を提供します。

- ご利用者が自己選択・自己決定できる。
- 幸せを感じられる支援を提供することができる。

<結果>

- 自己選択・自己決定を促す関わりを持つことでご利用者主体の生活に近づけることができた。
- ご利用者が幸せに感じられることが見つけられ、全てではないが叶えることができた。

### 第二介護係月組

<目標>

ご利用者、ご家族との関わりの中でその人のことを深く知り想いや願いを実現することで笑顔のある日々を提供します。

- 情報を収集し、シートにまとめ、職員間で共有できる。
- 情報をもとに想いや願いを実現し評価できる。

<結果>

- 日々の生活の中で情報収集を実施し知り得た情報を職員間で共有できた。
- 集めた情報を元にご利用者の想いや願いを叶えることができ笑顔にも繋げられた。

### 第二介護係宙組

<目標>

ご利用者がどのような生活を送ってきたのかを知り想いや願いを理解することで利用者主体のケアを提供いたします。

- ご利用者の生活史を知ることでご利用者の思いに沿った関わりができる。
- 24時間シートを活用し利用者の好みや思いを知ることができる。

<結果>

- ご利用者への聞き取りや日々の関わりの中で笑顔になったこと等を日々記録し、職員間で情報共有しご利用者の想いを知ることができた。

- 定期的に 24 時間シートの更新を行い、個々の生活リズムや好みなどを知り、個々の望む生活を提供することができた。

## 第二介護係星組

### <目標>

ご利用者に寄り添い関わることで思いや願いを知り叶えことで、笑顔で過ごして頂ける支援を提供します。

- ご利用者の思いに寄り添いながら関わることで願いを知ることができ、楽しみのある生活に繋げることができる。
- 写真やブログなどを活用してご利用者や家族との繋がりを深めることができる。

### <結果>

- 日常の中で願いを聞き取り、願いに沿ったイベントや行事を企画・実施し、楽しみのある生活に繋げることができた。
- イベントや行事の様子を写真に撮りまとめることができた。

## 第二介護係楓組

### <目標>

ご利用者との関わりの中で知りえた希望を叶え、不安を減らすことで、今が幸せだと感じられる日々を提供します。

- ご利用者により直接的に関わることで本人の願いを知る。また不安(困りごと)を知り解決に繋げることができる。
- 願いが叶った様子や不安が解決し笑顔になったことを写真に残す。

### <結果>

- 日常の困りごとや願いを叶えることができた。日々笑顔も増えた。職員も記録に残して評価することができたので達成感や、やりがいを感じられることができた。
- 面会時やブログで活用してご家族に共有することができた。写真をリビングに掲示してご利用者とのコミュニケーションツールとして活用できた。

## 第二介護係桜組

### <目標>

ご利用者をかけがえのない存在と捉え、思いや願いを知り多職種共同で叶えることで存在を認め自己肯定感が感じられる笑顔の日々を提供します。

- ご利用者の想いや願いを知ることができるような関係性を築く関わりを行う。
- ご利用者の心理的ニーズを把握し充足できるケアを実践する。

### <結果>

- 意思表示ができない方等を含め個々のご利用者に合わせてコミュニケーションをチームで考え実践し良い関係性が築けた。
- 個々のご利用者のニーズを把握し個々にあった「安心した環境」を提供することができた。

## ⑤ 短期入所生活介護

### <目標>

レクリエーションやリハビリを充実させ活動的に過ごせる。

- ショートステイ利用中にご利用者が楽しめること、活動的に身体を動かせることを共有し実践する。
- ご利用者が居心地よく過ごせるように職員が正しい接遇、言葉遣いを理解し相手の立場に立ったケアが実践できる。
- タイムリーにショート計画書の作成ができる。

### <結果>

- レクリエーション活動についてはバリエーションを増やし活動の幅を広げることで多くの方に楽しんで頂くことができた。
- 組会議や申し送りの場、申し送りノートを活用し定期的に周知することで、ご利用者が安心して過ごせる環境を提供することができた。
- ご家族、ケアマネからの情報と利用中の様子等からアセスメントし、ケア内容の統一及び定期的な更新が行えた。

## 2. 医務課基本方針

本人・家族の代弁者となり自己決定の支援を提供します。

### ⑥ 医務係

<目標>

ご利用者の全身状態の把握に努め他職種と連携し個別の健康管理を行うことで、その人らしい生活が維持できる支援を提供します。

- その人らしさを知るために情報収集を実施し、多職種間で共有することでその方の望む医療やケアにつなげることができる。
- 異常の早期発見に努め生活の質が維持できる。

<結果>

- 日々の関りの中で本人の想いを知り、ケース会議等ではご家族の想いを知り本人・家族が望む医療やケアに繋げることができた。
- 日々の健康観察でご利用者の状態変化を知りタイムリーに対応することができた。

### 機能訓練

<目標>

ご利用者、ご家族の望む生活スタイルに近づけるよう身体機能を把握し、機能の維持が図れるように多職種と連携し訓練を行います

- 情報シートを活用し身体機能の把握ができる。
- 多職種と連携しニーズに沿った計画を立案し実施できる。

<結果>

- 情報シートをもとに個々のADLを把握することができた。
- 多職種と定期的に意見を交換し個々のご利用者が望む生活に近づけるように計画を作成し実施することができた。

### ⑦ 各委員会

#### リスクマネジメント委員会

<目標>

リスクへの気づきをチームで共有し、統一したケアを行うことで事故防止に努めます。

- リスクの気づきを記録に残し対応策をチームで話し合うことでリスク回避能力の向上を図る。
- 事故発生時は速やかに報告書を作成する事で適切な改善策を講じることができる。また、作成した報告書を職員間で共有をすることで類似した事故防止に努めることができる。

<結果>

- リスクの気づきを記録に残し対策をチームで検討することで事故防止をすることができた。また、KYT 動画(危険予知訓練)でリスクのポイントに気づくことでリスク回避の向上を図ることができた。
- 事故については早急にチームで検証を行い、報告書を作成して施設全体で共有することで類似した事故を防止できる様に努めることができた。

#### 資質向上委員会

<目標>

理念及び基本方針を共有し職員の質の向上を図り、介護機器を活用しサービスの向上及び業務の改善ができる

- ケア方針研修の内容や目的をメンバーが理解したうえで研修を実施し、知識・技術の向上ができる。
- チームで年間の目標を定め、その目標に向かって日々、ケアをしていくことで職員のやりがいに繋がる。
- ターミナルケア指針に沿ったケアができて施設全体に周知ができる。
- 生産性を向上し職員の労働環境を整える。

<結果>

- 研修の内容や目的を理解して各組に伝えることで知識・技術の向上に繋がり、ケアの質

の向上に繋がった。

- 定期的に目標の進捗状況などを振り返り、情報の共有ができた。また年間活動報告会をすることで職員も1年を振り返り、達成できたことや来年度への課題を明確にできたことでモチベーション向上に繋がった。
- 終末期ケアを委員会で振り返り良かったことや課題を共有することでターミナルケアについての理解を深めることができた。
- 業務改善をすることでご利用者、職員とも負担の軽減に努められた。ICT機器の導入についても年間を通じて検討を重ねた。

### 食事改善・食中毒対策委員会

#### <目標>

栄養ケアマネジメントについて多職種で理解を深め観察することで適時に見直すことができ、口腔衛生の向上に努め、食の楽しみと喜びを感じることができる。

- 栄養ケアマネジメントやミールラウンドの目的・必要性を理解し、低栄養予防・改善や摂食嚥下機能に合わせた食支援を検討し、実施できる。
- 口腔衛生について知識を深め、日々のケアで実施することで、施設全体として口腔衛生環境の向上へ努めることができる。
- 食中毒や感染症予防について、食事改善委員会を通して知識を深めることができる。

#### <結果>

- 歯科衛生士、言語聴覚士の関わりでさらなる知識や意識が高まり、多職種で低栄養予防・改善や摂食嚥下機能に合わせた食支援を検討し、実施できた。
- 歯科医師、歯科衛生士から指導や助言を受けることで、施設全体の口腔衛生環境の維持・向上へ繋げることができた。
- 食中毒や感染症予防についての知識を深め、日常のケア場面での留意点について周知することができた。

### 感染症対策委員会

#### <目標>

誰もが標準予防策及び感染症発生時の対応について理解を深め、適切な感染予防行動がとれ感染拡大を防ぐことができる。

- 感染源、感染経路についての理解を深めることができる。
- 感染症マニュアルを職員が理解し対応できる

#### <結果>

- 新型コロナ感染症が5類感染症になり、その都度、状況変化に応じたマニュアルの見直しを行った。
- 定期的の実戦形式のシミュレーション、またはガウンテクニックなどの実技指導は行っていたが、クラスターなどの発生もあり、課題があることも確認できた。

### 排泄委員会

#### <目標>

排泄物品の適正な使用と便性状に合わせた排便コントロールを多職種連携で実施し快適な日々を送れるように支援します。

- 一人ひとりに合わせた排泄物品を選定し使用することができる。
- 排泄のメカニズムを理解し、多面的にアプローチすることで腸内環境を整え下痢を減らすことができる。
- 外部と連携し排泄ケアのスキルを高めることができる。

#### <結果>

- 尿量測定を実施し、一人ひとりに合ったトイレ誘導やパットの選定することができた。排泄物品の使用量を削減することができた。
- 各組対象者を決めて便秘に対してアセスメントを実施。便秘改善と自然排便の促す取り組みができた。本人に合った食事、水分、下剤の種類や内服する量、時間を把握することができた。
- 定期的にオムツメーカーの研修を実施し、施設全体に浸透することができた。

## 身体拘束委員会

### <目標>

言葉による行動の抑制が身体拘束に当たることを理解し、声かけや関わりを改善することでご利用者の気持ちに寄り添った利用者本位の支援を提供します。

- ケア改善シートを活用し適切な関わりができる。
- 研修を通して身体拘束について理解ができる。

### <結果>

- ケア改善シートを活用し各組の課題に対して改善方法を統一し、各組で取り組んだことでスピーチロックの改善に繋がった。
- 研修を通してどのような対応が言葉による拘束（スピーチロック）に繋がるのかを伝え身体拘束に対しての意識を高めることができた。

## 虐待防止委員会

### <目標>

虐待：業務における困難な状況下での気持ちの乱れへの対応方法について考え、サービスの質向上に努め利用者本位の支援ができる。

- アンガーマネジメント=感情管理について考え共有することで、ストレスやプレッシャーが軽減される。これにより、ここの職員が心地よい労働環境で働く事ができて、その結果、ご利用者へのサービス品質が向上する。共有された理解と協力の精神は、チーム全体が一丸となり、より効果的かつ温かいサポートを提供できるようになります。

### <結果>

- 全体研修を通して、不適切なケアについての理解を高め各組のケアにどのように生かしていくかを考え実施することができた。

## 褥瘡委員会

### <目標>

褥瘡について理解を深め適切に物品を使用し、多職種で連携しご利用者ごとに適切なケアを行うことで褥瘡を予防するケアを提供します。

- 褥瘡について理解し適切な物品使用と管理ができる。
- 多職種連携でご利用者の状態に応じた褥瘡予防ができる。
- 多職種連携で褥瘡の発生から対応に至るまでの手立てを構築し、適切に対応することができる。

### <結果>

- 適切な物品使用とご利用者の状態に応じた褥瘡予防が多職種連携で行えた。
- 褥瘡発生から評価までの流れを委員会内で発信し他職員も周知することができた。褥瘡発生時は流れに沿って適切に対応することができた。

## 広報委員会

### <目標>

広報誌、ブログ、ホームページを通して、様々な方に当法人を知っていただけるよう、広い範囲での発信を行います。

- ホームページを刷新し、より見やすい内容にする。
- 定期的な広報誌の発行・ホームページの更新・ブログの掲載を通して、ご利用者の日常生活・行事等の様子やそこで働いている職員の様子を多くの人に知っていただく。
- 就職説明会への参加や施設見学会を実施し、学生や求職中の方にねむの丘をPRし、人材の確保に繋げる。

### <結果>

- ホームページをリニューアルしたことで、より見やすく使いやすくなり、ねむの丘のイメージアップに繋がった。
- 定期的な広報誌の発行・ホームページの更新・ブログの掲載を実施し、ご利用者や職員の明るい雰囲気を紹介することができた。
- 就職説明会への参加や施設見学会を実施し、職員の入職に繋がった。

## 入退所状況

### 【従来型】

	1日現在 在者数	退所者数	退所理由	新規入所者数	新規 平均介護度	新規平均年齢	備考
4月	39人	1名	長期入院×1				
5月	38人			1名	介護4	87歳	在宅×1
6月	38人						
7月	39人	1人	長期入院×1	1人	介護5	102歳	病院×1
8月	38人						
9月	40人						
10月	39人						
11月	39人						
12月	39人						
1月	37人	3人	看取り×1 死亡(病院×1) 死亡(施設×1)				
2月	39人			4人	4.5	88.2歳	在宅×2 有料×1 病院×1
3月	38人	1人	看取り×1	1人	4	87歳	在宅×1
合計		6人	看取り×2 死亡(病院)×1(施設)×1 長期入院×2	7人	介護4.3	91歳	在宅×4 病院×2 有料ホーム×1

※ 退所者：令和4年14名(看取り7名)令和5年6名(看取り3名)令和6年6名(看取り2名)

※ 入所者：令和4年13名(平均介護度4.2・年齢89歳) 令和5年8名(平均介護度4.6・年齢83歳)令和6年7名(平均介護度4.3・年齢91)

※ 新規入所者の傾向として前年度と比較し、老健2名→0名。

### 【ユニット型】

	1日現在 在者数	退所者数	退所理由	新規入所者数	新規 平均介護度	新規平均年齢	備考
4月	59人	1人	看取り×1	2人	介護4.5	83歳	老健×1 有料ホーム×1
5月	58人	1人	死亡(病院)×1				
6月	59人	1人	長期入院×1	2人	介護4.5	82.5歳	在宅×1 病院×1
7月	60人	2人	看取り×1 死亡(病院)×1	2人	介護3.5	88.5歳	老健×1 病院×1
8月	58人	1人	看取り×1	1人	介護4	84歳	在宅×1
9月	56人						
10月	58人						
11月	58人	1人	長期入院×1	1人	介護5	94歳	在宅×1
12月	59人	1人	看取り×1				
1月	60人	1人	看取り×1	1人	介護4	97歳	老健×1
2月	60人	4人	看取り×3 死亡(病院×1)	3人	介護4	89.6歳	在宅×1 有料ホーム×1 老健×1
3月	59人	1人	看取り×1	1人	介護4	90歳	特養×1
合計		14人	看取り×9 死亡(病院)×3 長期入院×2	13人	介護4.2	88.5歳	在宅×4 老健×4 病院×2 有料ホーム×2

※ 退所者：)令和4年12名(看取り5名)令和5年23名(看取り14名)令和6年14名(看取り9名)

※ 入所者：令和4年13名(平均介護度3.9・年齢87歳) 令和5年25名(平均介護度4.3・年齢89歳) 令和6年13名(平均介護度4.2・年齢88.5)

※ 全体を通じて、退所が減少したことで新規入所者数は前年と比べ33名→20名と減少。

○ 入所者の状況

【従来型】

要介護度	性	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均介護度	男	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
	女	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
平均介護度		4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3

※ 平均介護度：令和2年度4.3、令和3年度4.3、令和4年度4.3、令和5年度4.3、令和6年度4.3

【ユニット】

要介護度	性	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均介護度	男	4.3	4.3	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2
	女	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3
平均介護度		4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3

※ 平均介護度：令和2年度4.3、令和3年度4.1、令和4年度4.1、令和5年度4.2、令和6年度4.3

○ 入院者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	延べ
既存入院者	37人	62人	42人	40人	42人	21人	54人	51人	84人	106人	43人	84人	56人/月	666人
ユニット入院者	51人	38人	20人	42人	102人	133人	89人	57人	19人	.0人	32人	39人	52人/月	622人
入院者数	88人	100人	62人	82人	144人	154人	143人	108人	103人	106人	75人	123人	107人/月	1288人
一日平均	2.93人/日	3.23人/日	2.07人/日	2.65人/日	4.65人/日	5.13人/日	4.61人/日	3.6人/日	3.32人/日	3.42人/日	2.68人/日	3.97人/日	3.5人/日	
既存入所待ち空床	13人	0人	9人	0人	0人	0人	0人	0人	30人	99人	8人	0人	13人/月	159人
ユニット入所待ち空床	9人	13人	31人	20人	0人	0人	20人	12人	22人	82人	21人	41人	23人/月	271人
空床合計	110人	113人	102人	102人	144人	154人	163人	120人	155人	287人	104人	164人	143人/月	1718人
一日平均	3.67人/日	3.65人/日	3.4人/日	3.29人/日	4.65人/日	5.13人/日	5.26人/日	4.0人/日	5.0人/日	9.26人/日	3.71人/日	5.29人/日	4.7人/日	

※ 一日平均入院者3.6人→3.5人とほぼ変わらず。

※ ユニット入所待ち空床月平均45人から23人へと減少。

○ 稼働状況(ショートを含めた稼働率)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
既存稼働率	96.1%	95.4%	95.7%	95.4%	94.1%	97%	95%	95.1%	88.2%	87%	94.3%	93.7%	93.9%
ユニット稼働率	97.9%	97.3%	97.6%	97.1%	94.5%	95.2%	96.6%	96.8%	98.8%	96.1%	97.1%	97.4%	96.9%
平均稼働率	97%	96.3%	96.6%	96.2%	94.3%	96.1%	95.8%	95.9%	93.5%	91.5%	95.7%	95.5%	95.4%

※ 12月・1月と既存棟で新型コロナウイルスのクラスターにより入院者の増加等があり稼働率の低下が見られたがユニット棟に関しては年間通じて安定した稼働率を維持し年間稼働率も94.4%→95.4%と増加。

○ ショート利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	38人	39人	36人	37人	32人	39人	40人	37人	36人	44人	39人	40人	457人
延べ日数	601人	597人	581人	582人	583人	612人	625人	574人	531人	592人	537人	561人	6,976人
一日平均	20.0人	19.2人	19.3人	18.7人	18.8人	20.4人	20.1人	19.1人	17.1人	19.0人	19.1人	18.0人	19.0人

※ 12月にコロナ感染による入院や受け入れ中止等の対応により、大幅な減少となった一方で月平均4.5人のショート新規利用者及びその後の定期利用者数の増加に伴い、年間を通して安定した利用者数で推移した。年間1日平均ショート利用者数は18.5人→19.0人に増加

### 3. 在宅支援部

#### (1) デイサービスセンター虹の家

##### <目標>

- ・ご利用者の希望に可能な限りお応えし、住み慣れた地域でご利用者らしく心身ともに自立した日常生活が送れるよう、充実した機能訓練・認知症予防・余暇活動を提供し、要介護高齢者の在宅生活の限界点を高めます。

##### <結果>

- ・機能訓練や認知症予防を通して、ご利用者が可能な限り在宅生活が継続できた。余暇活動としては前年度より取り入れている軽スポーツの種目を増やし高い支持を得られたほか、デイサービスでの役割をもっていただくために生活リハビリとして日常生活の延長線上である掃除、片付けなどの簡単なお手伝いを導入。お手伝いをしていただいた方には景品と感謝状をプレゼントし、ご利用者だけでなくご家族様からも感謝の文もいただいた。ご自宅でもお手伝いをするようになったとのこと。

実施状況報告書（6年度） デイサービスセンター虹の家

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	25	27	26	26	27	26	157	26	26	26	24	25	26	153	310	26
要支援1	15	13	13	7	13	17	78	20	21	20	27	24	21	133	211	18
要支援2	48	50	48	54	54	65	319	77	82	77	71	63	76	446	765	64
要支援延利用人員	63	63	61	61	67	82	397	97	103	97	98	87	97	579	976	81
要支援一日平均	3	2	2	2	2	3	3	4	4	4	4	3	4	4	3	3
介護度1	302	278	248	242	300	286	1,656	249	247	246	228	243	261	1,474	3,130	261
介護度2	131	127	151	153	160	155	877	162	161	154	128	135	139	879	1,756	146
介護度3	25	37	30	43	42	39	216	27	29	41	42	33	31	203	419	35
介護度4	19	18	16	12	0	4	69	11	13	15	21	22	22	104	173	14
介護度5	25	23	25	26	21	15	135	32	30	32	24	27	13	158	293	24
要介護延利用人員	502	483	470	476	523	499	2,953	481	480	488	443	460	466	2,818	5,771	481
要介護一日平均	20	18	18	18	19	19	19	19	18	19	18	18	18	18		19
延利用人員数	565	546	531	537	590	581	3,350	578	583	585	541	547	563	3,397	6,747	1,349
一日平均	23	20	20	21	22	22	21	22	22	23	23	22	22	22		22
令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	26	27	25	27	27	25	157	27	26	25	24	24	26	152	309	26
要支援1	29	28	23	24	22	16	142	17	19	17	18	17	17	105	247	21
要支援2	67	91	85	85	93	103	524	127	121	117	114	116	141	736	1,260	105
要支援延利用人員	96	119	108	109	115	119	666	144	140	134	132	133	158	841	1,507	126
要支援一日平均	4	4	4	4	4	5	4	5	5	5	6	6	6	6	5	5
介護度1	269	278	259	248	255	237	1,546	243	247	241	214	194	214	1,353	2,899	242
介護度2	144	134	131	130	153	161	853	159	170	179	161	156	155	980	1,833	153
介護度3	35	83	85	88	81	58	430	64	51	68	60	33	30	306	736	61
介護度4	26	20	23	22	38	33	162	36	30	26	26	40	39	197	359	30
介護度5	9	9	8	9	14	15	64	15	9	9	8	8	15	64	128	11
要介護延利用人員	483	524	506	497	541	504	3,055	517	507	523	469	431	453	2,900	5,955	496
要介護一日平均	19	19	20	18	20	20	19	19	20	21	20	18	17	19		19
延利用人員数	579	643	614	606	656	623	3,721	661	647	657	601	564	611	3,741	7,462	1,492
一日平均	22.3	23.8	24.6	22.4	24.3	24.9	23.7	24.5	24.9	26.3	25.0	23.5	23.5	24.6		24.1

## (2) 第二デイサービスセンター虹の家

### <目標>

- ・ご利用者の思いに寄り添い一人ひとりが望む生活が続けられるよう、機能訓練による健康維持や認知予防活動を行い、その人らしい在宅生活を支援します。
- ・職員研修を通じて感染・災害対応能力向上を図り、持続的な安心・安全なサービス提供が図れるように努めます。

### <結果>

- ・ご利用者との関わりはもちろん、ご家族やケアマネージャーとの情報共有を図ることで、今その方にどのような支援が必要かを見出し職員間で周知することで、適した支援ができたと感じている。レクリエーションや脳トレ等マンネリ化しない工夫を行い好評を得た。利用者数に関しては、前年を上回る新規利用者の紹介を得られることができた。
- ・職員研修は各月、テーマごとに資料配布していただき、フォームからの回答という形式にしたことで、全職員が対象となり皆が共通認識をもつことができるようになった。個別学習の機会の増加が図れ、また全回答を把握することで職員の意識改革のきっかけに繋がる結果となった。

実施状況報告書（6年度） 第二デイサービスセンター虹の家

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	25	27	26	26	27	26	157	26	26	26	24	25	26	153	310	26
要支援1	8	9	8	4	5	8	42	12	9	8	6	7	14	56	98	8
要支援2	55	73	73	83	82	67	433	61	63	63	51	59	62	359	792	66
要支援延利用人員	63	82	81	87	87	75	475	73	72	71	57	66	76	415	890	74
要支援一日平均	2.5	3.0	3.1	3.3	3.2	2.9	3.0	2.8	2.8	2.7	2.4	2.6	2.9	2.7	2.9	2.9
介護度1	173	192	172	155	175	183	1050	176	179	175	190	217	223	1160	2210	184
介護度2	104	108	113	126	130	141	722	164	146	121	108	105	108	752	1474	123
介護度3	63	61	53	59	46	44	326	42	62	57	46	30	19	256	582	49
介護度4	26	27	22	14	14	13	116	13	13	13	12	13	13	77	193	16
介護度5	0	0	0	0	0	0	0	8	10	4	0	0	0	22	22	2
要介護延利用人員	366	388	360	354	365	381	2214	403	410	370	356	365	363	2267	4481	373.4
要介護一日平均	14.6	14.4	13.8	13.6	13.5	14.7	14.1	15.5	15.8	14.2	14.8	14.6	14.0	14.8		14.5
延利用人員数	429	470	441	441	452	456	2,689	476	482	441	413	431	439	2,682	5,371	1,074
一日平均	17.2	17.4	17.0	17.0	16.7	17.5	17.1	18.3	18.5	17.0	17.2	17.2	16.9	17.5		17.3
令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	26	27	25	27	27	25	157	27	26	25	24	24	26	152	309	26
要支援1	11	11	10	12	21	21	86	32	22	24	23	14	13	128	214	18
要支援2	63	71	62	60	55	62	373	68	62	62	60	68	57	377	750	63
要支援延利用人員	74	82	72	72	76	83	459	100	84	86	83	82	70	505	964	80
要支援一日平均	2.8	3.0	2.9	2.7	2.8	3.3	2.9	3.7	3.2	3.4	3.5	3.4	2.7	3.3	3.1	3.1
介護度1	252	256	229	263	262	246	1508	266	261	266	258	256	256	1563	3071	256
介護度2	102	105	134	146	119	115	721	145	133	122	111	109	114	734	1455	121
介護度3	16	22	5	0	3	4	50	5	21	40	37	36	52	191	241	20
介護度4	18	19	24	26	21	25	133	29	29	27	27	35	44	191	324	27
介護度5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護延利用人員	388	402	392	435	405	390	2412	445	444	455	433	436	466	2679	5091	424.3
要介護一日平均	14.9	14.9	15.7	16.1	15.0	15.6	15.4	16.5	17.1	18.2	18.0	18.2	17.9	17.6		16.5
延利用人員数	462	484	464	507	481	473	2,871	545	528	541	516	518	536	3,184	6,055	1,211
一日平均	17.8	17.9	18.6	18.8	17.8	18.9	18.3	20.2	20.3	21.6	21.5	21.6	20.6	20.9		19.6

### (3) ケアプランセンターねむの丘

#### <目標>

専門職として常にスキルアップを心がけ、迅速かつ丁寧なケアマネジメントをすることで、ご本人、ご家族に安心して生活を送っていただく。

#### <結果>

- ・ ご利用者の希望、心身の状況、生活環境、ご家族の支援状況等を把握するように努め、ご利用者及びご家族が望む生活が実現できるように支援を行うことができた。
- ・ ご利用者、ご家族より相談を受けた際には迅速に対応を行うことで信頼関係を構築することができた。
- ・ 研修への参加等を通じて自己研鑽に努め、専門職としてご利用者、ご家族からの相談に対する助言及び介護サービスの提案等の支援を行うことができた。
- ・ 各サービス事業所の担当者と連携し、体調の変化等の早期把握に努め、ご利用者及びご家族の支援を行うことができた。
- ・ ご利用者の入院時には病院へ情報提供を行い、退院時には病院にうかがうように務め、主治医や病院関係者と連携を行いご利用者、ご家族が安心して自宅に戻り生活を過ごせるように退院支援を行うことができた。
- ・ 感染症の予防に努め、安全に事業を継続することができた。

#### 主な活動内容

- ① サービス計画書の作成
- ② 自宅訪問による相談
- ③ サービス担当者会議の開催  
(介護保険証の更新時又はサービス内容の変更時)
- ④ モニタリング (評価)
- ⑤ 各居宅サービス事業所、行政機関、主治医 (医療機関) との連携
- ⑥ 各種申請の代行手続き  
・ 介護保険要介護申請代行
- ⑦ 自己研鑽 (事業所内研修毎週 1 回、外部研修)
- ⑧ 他法人共同事例検討会の開催 (7 月に開催)
- ⑨ 書類の整備

令和 6 年度	給付管理票提出数	1,458 件	(介護給付)
		497 件	(予防給付)
令和 5 年度	給付管理票提出数	1,499 件	(介護給付)
		436 件	(予防給付)

令和6年度 ケアプランセンターねむの丘 要介護度別担当者数

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平均	比率
要介護1	62	63	59	58	59	58	54	54	50	53	52	52	674	56	45%
要介護2	33	33	34	34	36	36	36	33	35	31	30	27	398	33	27%
要介護3	13	15	14	14	13	14	14	16	16	16	17	17	179	15	12%
要介護4	16	16	15	11	11	10	11	14	13	15	14	11	157	13	10%
要介護5	8	6	6	7	7	6	8	7	7	8	11	10	91	8	6%
要介護累計	132	133	128	124	126	124	123	124	121	123	124	117	1,499	125	
要支援1	12	11	10	10	10	12	14	16	17	17	18	18	165	14	38%
要支援2	23	22	21	20	22	21	20	21	22	20	19	20	251	21	58%
総合事業対象者	0	0	0	1	2	2	2	3	2	2	3	3	20	2	4%
要支援及び総合事業対象者累計	35	33	31	31	34	35	36	40	41	39	40	41	436	36	
令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平均	比率
要介護1	53	53	50	53	50	49	47	48	51	51	52	49	606	51	42%
要介護2	31	31	37	36	36	37	35	36	34	34	34	35	416	35	28%
要介護3	16	18	18	16	16	16	16	15	15	15	15	14	190	32	13%
要介護4	9	7	8	11	12	14	13	13	12	14	15	15	143	12	10%
要介護5	9	10	9	7	8	8	10	9	9	10	8	8	105	9	7%
要介護累計	118	119	122	123	122	124	121	121	121	124	124	121	1,460	122	
要支援1	19	16	15	14	13	13	14	15	14	11	11	12	167	14	34%
要支援2	20	22	22	23	21	24	24	25	28	28	28	27	292	24	59%
総合事業対象者	3	3	4	5	5	5	3	3	3	2	2	1	39	3	7%
要支援及び総合事業対象者累計	42	41	41	42	39	42	41	43	45	41	41	40	498	42	

## (4) 渋川市北橋地域包括支援センター

### <目標>

地域高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援し総合的に支えていく拠点としての機能強化を目指します。

### <結果>

#### (1) 総合支援事業

総合相談の6割が介護・介護保険に関する事で、介護認定の申請から関わるケースが多くみられた。実態把握訪問に関しては高齢者の困りごとに対して、タクシー券の代行申請、介護タクシーの案内、配食サービス等を紹介し、自立支援に向けた情報を提供することができた。また、民生委員との連携では介護保険サービス利用に繋げることや、認知症の方に対して認知症高齢者捜索支援登録をすることでご本人、ご家族が安心して在宅生活が継続できるよう支援することができた。また、若年性認知症の相談も1件あった。

#### (2) 権利擁護事業

困難事例や虐待事例があり、警察や関係機関と連携することがあった。また、消費者被害の相談や消費生活センターと連携することもあった。高齢者の方が安心して生活できるよう、様々な権利を守り、成年後見制度、日常生活自立支援事業の活用、虐待被害の対応、防止、早期発見に努めることができた。

#### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

金銭管理に関する事で、担当するケアマネジャーから相談があり、同行訪問をして日常生活自立支援事業の説明をすることがあった。関係機関と緊密な連携を図ることで圏域内の高齢者の課題解決や調整を包括的、継続的に行うことができた。

#### (4) 介護予防ケアマネジメント事業

利用者本人からサービス利用の相談があり、自己選択、自己決定を促し、適切なマネジメント業務を行い、身体状況の悪化を防ぎ、自立した生活が継続できるように介護予防を目的とした支援を行うことができた。

## 令和6年度 渋川市北橋地域包括支援センター事業実施報告書

区分		当年度累計
開所日数		259日
基本情報作成数		29
相談実績		3,947
相談方法	電話（延べ）	2,537
	来所（延べ）	457
	訪問（延べ）	846
	その他（延べ）	107
相談内容が主に認知症に係る件数（延べ）	65歳以上	77
	65歳未満	1
実態把握（一人暮らし高齢者）		218
権利擁護に関する相談件数		200
相談方法	成年後見（延べ）	37
	措置の支援（延べ）	0
	地域福祉権利擁護（延べ）	0
	高齢者虐待（延べ）	163
	消費者被害（延べ）	0
ケアマネジメント支援（プランチェック含）		135
介護予防支援	委託	503
	包括	121
介護予防ケアマネジメント	委託	324
	包括	38
国保連請求数		1083
国保連請求数（返戻・修正・過誤）		1
基本チェックリスト（総合事業）		5
管理者会議（全体会議）		12
社会福祉士定例会		11
保健師定例会		3
主任ケアマネ定例会		12
民生委員連絡会議		11
生活支援体制整備事業（協議体）		9
家族介護教室・介護予防教室（主催）		2
各地域サロン		2
地域ケア会議（個別）・コア会議		8
困難事例勉強会		3
CM研修会		4
外部研修会		12
認知症施策（サポーター養成講座・見守りあんしん・学びの講座）		5